

## 都市再生におけるデータ活用推進ワーキンググループの開催について

### 1. 設置の趣旨

都市再生については、我が国の活力の源泉である都市の魅力と国際競争力を高めるため、平成 13 年に都市再生本部を設置し、都市再生緊急整備地域およびその周辺地域における地価向上や人口増加などの成果を着実に上げてきた。

その一方で、昨今の働き方の変化やデジタル化の進展、脱炭素社会の早期実現など、都市を取り巻く環境は目まぐるしく変容しており、従来からの取組とその効果検証を行うだけでは、迅速に対応することが難しくなっている。

そうした環境下において、今後、柔軟かつ機動的に都市再生を進めていくためには、既存の統計データ等の更なる活用に加え、人流や消費活動などのいわゆるオルタナティブデータ等を積極的に活用することで、都市活動の推移や地域ごとの比較などを踏まえた都市再生の PDCA や民間投資の呼び込みを促進していくことが重要である。

そこで、今後どのようなデータを、どのように利活用することで、都市再生の推進に繋げていくことができるのか、また、データを利活用するに当たっての課題や留意点はどのようなことがあるのかを検討するため、都市再生におけるデータ活用推進ワーキンググループを開催する。

### 2. 主な議論・検討事項

都市再生における効果的なデータ活用推進を検討するに当たって、以下の検討を行う。

- (1) 都市再生におけるデータ活用の方向性や課題について
- (2) 都市再生緊急整備地域における都市再生の進捗状況や効果等を把握するための指標や運用方法のあり方について
- (3) 都市再生における優良なデータ活用事例の収集 等